

**泉区地域子育て支援拠点事業  
平成27年度重点目標評価結果・次年度重点目標**

事業実施期間	平成27年4月1日～28年3月31日(3年度目/5か年度)
事業の実施者	特定非営利活動法人ちよこっといずみ
	泉区こども家庭支援課
事業目的	<p>市民が安心して子どもを産み育て、子育てに喜びを感じることができる社会環境を形成し、子育てを地域全体で支援する地域力の創出に寄与することを目的とします。</p> <p>【事業・施設運営の基本理念】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ○○区における、地域による子育て支援の拠点施設としての運営</li> <li>2 子どもの視点に立ち、すべての就学前児童及びその養育者、並びに子育てに関する支援活動を行う者に開かれた運営</li> <li>3 子どもと家庭を支援する各種の行政等機関・地域等との連携を図る運営</li> <li>4 利用者の意見、子育てをめぐる社会情勢、市民ニーズの変化に柔軟に対応できる運営</li> <li>5 子ども及びその養育者の育ちを支援するとともに、養育者自身が事業の担い手として関わることでできる視点に立った運営</li> <li>6 地域の人と人とのつながりを広げ、地域ぐるみの子育て支援を目指す運営</li> </ol>
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業)</li> <li>2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業)</li> <li>3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業)</li> <li>4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(支援者ネットワーク事業)</li> <li>5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業)</li> <li>6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること(横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業)</li> <li>7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)</li> </ol>
事業の評価実施方法及び評価結果の公表方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 今年度の取組状況や利用者アンケート結果等をもとに、協働契約書中の役割分担表の項目に沿って設定した、今年度の達成目標のうち、当該年度に特に重点的に取り組む達成目標である「重点目標」について、以下の通り、相互振り返りを踏まえた取組成果と課題を公表します。</li> <li>2 今年度の取組状況や成果、課題を踏まえ、次年度の重点目標を公表します。</li> </ol>

## 1 平成27年度重点目標の評価

平成27年度重点目標①	・父親が拠点をより気軽に利用できるようにし、父親同士のつながりを作っていきます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パパDayを毎月1回土曜日に設定し、周知することで父親が来所しやすいようにします。</li> <li>・昨年度に行った「パパスクール」で出来たつながりを基盤に、父親同士がSNSなどを利用してゆるやかにつながり、情報交換ができるようにサポートしていきます。</li> <li>・パパスクールのような、父親が関心のあることを学べる機会を設けます。</li> </ul>
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月1回土曜日にパパDayとしてプログラムのある時間を設け(計10回)、拠点のニュースレターやメールマガジン、SNS等で広く周知した。また、拠点利用の母親にも父親の参加を働きかけた。(参加者のべ155名)</li> <li>・昨年度のパパスクールで繋がりの出来た父親たちによる提案で自由に遊びながら父親が交流するパパDayも実施し、好評だった。</li> <li>・最終回は、父親の子育ての著作もある講師による、親子のコミュニケーションについての講演会を行った。(参加者57名のうち父親の参加 18名)</li> </ul>
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの年齢が上がり、幼稚園に通うようになるとライフスタイルが変わり、拠点を通じた交流が見えにくくなったり、繋がりが薄れてしまう。</li> <li>・ワークスタイルが多様で、土曜日は仕事の父親も多い。パパDayの平日開催のニーズもあったが、曜日がまちまちのため設定が難しい。</li> </ul>

平成27年度 重点目標②	・子育てサポートシステムについて、地域に親子を見守る大人を増やすという意義を伝えながら、さらに周知を進めて利用につなげます。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年に引き続き、地域に出向いて説明会を行い、子育てサポートシステムについて丁寧に伝える機会を持ちます。</li> <li>・利用会員のニーズを汲みながらも、子サポの意義を丁寧に伝え、提供会員とのやり取りが円滑に進む活動となるように努めます。</li> <li>・会員の声を丁寧に聞き取り、より良い活動につなげます。</li> </ul>
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ケアプラザや「つどいの広場」などに出向き、地域の方に向けて子サポの意義について伝えながら、説明会を開催したりチラシ配りなどの周知活動を行った。(出張説明会 計6回)</li> <li>・利用会員の緊急度や必要に応じて個別に対応するなどしてニーズを把握し、先を見通して円滑なサポートにつながるよう提供会員にも丁寧に依頼をし、サポート後もフォローを行った。(個別説明会 計39回)</li> <li>・提供会員の活動報告書を丁寧に見て、フォローの聞き取りをしたり、「ひだまりタイム」を設けて、提供会員が事務局に気軽に話ができる機会を設定した。</li> <li>・地域の方が支援に参加し、地域全体が支えていってもらえるよう、連合町内会長会に出向き、地域を巻き込むことに取り組んだ。</li> <li>・広報よこはま泉区版にて、子サポの周知記事と提供会員募集を掲載した。</li> <li>・地域のフリーペーパーでも、シニア男性の提供会員の記事が掲載された。</li> <li>・周知活動の成果として、提供会員の登録者数は2015年3月末時点の66人から、2016年3月末で90人へ増加した。</li> </ul>
取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域によっては、ニーズとマッチングすることが難しく、需要と供給のバランスが依然として取れない。</li> <li>・提供会員が多い町となるよう、まだまだ子サポの意義を伝えていく必要性を感じる。</li> </ul>

## 2 次年度重点目標

平成28年度 重点目標	利用者支援事業(横浜子育てパートナー)を幅広く区民に周知し、子育て中の家庭に相談の窓口として広く認知され、地域の子育て支援機関や関係者と協働の関係づくりができる土台をつくることを目指します。
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てパートナーについて、拠点のニュースレターやホームページ等で年間を通して広報します。</li> <li>・拠点の「場」を活用し、利用者に子育てパートナーの周知を行い、相談しやすい関係づくりに努めます。</li> <li>・子育てサロンやつどいの広場、保育園や幼稚園など地域の子育て支援の場に出向いて広報活動を行いつつ、関係者と顔の見える関係づくりを行います。</li> </ul>